

武田勝頼公之像

戦国大名武田家は第20代勝頼がこの地で滅んだため、大和町は「武田家終焉の地」と知られています。

勝頼公之像は、平成14年大和村制60周年記念事業として建立されました。

太子堂

本尊は20cmほどの聖徳太子像

以前は境内が広く堂も大きく、田舎歌舞伎が演じられたこともありました。

景德院

織田・徳川連合軍に破れた勝頼公を供養するため徳川家康が建立しました。

境内には勝頼公・夫人・信勝公が自刃した生害石や墓が並びます。



武田の史跡と近代化遺産コース

甲州市民バス

×

甲州市フットパス

(武田の史跡と近代化遺産コース)

鳥居畑古戦場

天正10年、武田勝頼を追撃する織田・徳川4,000人の軍勢が駒飼口から押し寄せるなか、武田勢は秋山紀伊守・阿部加賀守ら100人に足りない少数でこれを迎え撃ったという激戦地です。

有馬晴信謫居跡

肥前有馬の日野江城主であった有馬晴信はキリシタン大名として知られていましたが、岡本大八事件に連座して、慶長17年甲斐国初鹿野の地に幽閉され謫居の身となりました。

ひと月ほどのち切腹を命じられましたが、キリスト教では自殺が禁じられていたため、家臣の手で斬首されました。